

令和3年度

地域学校協働活動 実践事例集



宮城県大河原教育事務所

発刊にあたって

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中で、学校・社会教育活動はデジタル化が一層進み、デジタル教科書、遠隔教育の実施等、学びの場づくりは、めまぐるしい変化を求められました。また、教育界が抱える課題が複雑化・困難化にある中で、教育関係者にとっては、「学校、家庭、地域のつながり」や「本物にふれるよさ（価値）」という「学びの本質を考える」という問いに直面したともいえます。

このような厳しい状況の中にもありながらも、大河原管内2市7町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会、管内各小・中学校の皆様におかれましては、日頃より学校教育活動及び地域学校協働活動の推進に御尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。また、各市町における確かな実践を御紹介いただき「地域学校協働活動実践事例集」が発刊できましたこと、大変嬉しく思います。

今、教育界では、「社会に開かれた教育課程」を柱とする学習指導要領の改訂、チームとしての学校、教員の資質能力の向上等、学校教育を巡る改革の方向性や学校と地域の連携・協働の重要性が叫ばれています。また、学校にとっては、児童・生徒へ「これからの厳しい時代を生き抜く力の育成」、「地域から信頼される学校づくり」、「社会教育・生涯学習的な基盤構築」の観点から、学校と地域はパートナーとして相互に補完していく必要があります。

地域社会のつながりや支え合い、地域・家庭教育力の充実が求められている中、「地域学校協働活動」は、地域における「人づくり、つながりづくり」の機会として大きな可能性を持つものであります。地域住民が児童・生徒の学習活動への関わりの中で得られる生きがい・やりがいづくりとともに、児童・生徒が地域づくりに参画していくことが望まれていることから、学校と地域のより一層の連携・協働が不可欠であると考えております。

この「地域学校協働活動実践事例集」は、各市町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会から事業実践の事例を紹介していただくとともに、学校紹介には、各学校が実践している地域と連携した教育活動を記載しております。また、今昨年度に引き続き、「地域学校協働活動市町訪問」の様子を掲載しましたので、御高覧いただくとともに、今後の活動の参考になれば幸いです。

結びに、本冊子を発刊するにあたりまして、御協力をいただきました管内各教育委員会の皆様及び関係各位に心より感謝を申し上げ、発刊の言葉といたします。

令和4年3月

宮城県大河原教育事務所
所長 市岡 良庸

目 次

発刊にあたって	大河原教育事務所長
○白石市教育委員会	白教委 1 ～白教委 4
「学校紹介」	1 3 校
○角田市教育委員会	角教委 1 ～角教委 4
「学校紹介」	1 0 校
○蔵王町教育委員会	蔵教委 1 ～蔵教委 4
「学校紹介」	8 校
○七ヶ宿町教育委員会	七教委 1 ～七教委 4
「学校紹介」	2 校
○大河原町教育委員会	大教委 1 ～大教委 4
「学校紹介」	5 校
○村田町教育委員会	村教委 1 ～村教委 4
「学校紹介」	4 校
○柴田町教育委員会	柴教委 1 ～柴教委 4
「学校紹介」	9 校
○川崎町教育委員会	川教委 1 ～川教委 4
「学校紹介」	5 校
○丸森町教育委員会	丸教委 1 ～丸教委 4
「学校紹介」	9 校
○仙南地域広域行政事務組合教育委員会	
	広 域 1 ～広 域 2
○地域学校協働活動市町訪問	管内 2 市 7 町

白石市の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

平成 24 年度より家庭教育支援活動・学校教育支援活動・地域活動を中心に白石市協働教育推進事業を推進してきた。平成 29 年度より市の「放課後子ども総合プラン」に基づき「子どものため」「共に学び育つ（パートナーシップ）」をコンセプトに市民による市民のための地域学校協働活動として着実に成果をあげてきた。

また、令和 2 年 7 月には、下記に示すとおり地域学校協働本部を設立して、地域の支援団体及び個人とのネットワークの拡充を図り、より充実した活動を推進することを目指している。

さらに、小原小中学校に学校運営協議会が設立され、地域と一体となった学校運営と支援体制が整いつつある。

2 地域学校協働本部について

平成 31 年より本部設立のために準備会を設置し、諸団体と連絡調整・周知を図り、令和 2 年 7 月に白石市地域学校協働本部を設立した。

本部には、本部長、副本部長、統括コーディネーター、地域コーディネーター（4 名）、推進員（12 名）地域連携担当者（各学校 1 名）を置き、さらに、各学校単位 PTA やまちづくり協議会等にも連携担当者を置くようお願いしている。

また、ボランティア単独の組織として「読み聞かせの会」があったが、加えて「登山ボランティアの会」、「スキーボランティアの会」の設立を予定している。

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
しろいし家庭教育支援チーム主催事業 「親の学びのプログラム」出前講座	しろいし家庭教育支援チーム「ペアレントらん」が講師となり、小学校で行われる一日入学説明会等の機会を活用し、未就学児の保護者向けに、また中学生には家庭科の授業の中で出前講座を実施した。 ・未就学児保護者対象 テーマ「子どもが小学校へ入学」 ・中学生対象 テーマ「親になるということ ～こんにちは！赤ちゃん～」	実施校 1 校 ○未就学児保護者対象 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ○中学生対象 ・白石中学校
親子リトミックとハッピータイム	例年開催しているリトミック講座に親子ヨガ、ムーブメント活動等の親向けのワークショップも開催、同世代の子を持つ親同士の交流の場にもなっている。	会場：中央公民館 上期：3 回 下期：3 回 ※新型コロナウイルスの影響で回数を減らして実施

(2) 地域活動支援

事業名	内 容	備 考
わんぱく教室	体験学習などを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、個々の創造性や集団での協調性、自主性を養成し生活力を身につける活動を行っている。今年度も地域の方々の協力を得て、交流が深まる活動を行う。 【通年開催】ジュニア・リーダーと遊ぼう・わんぱく大冒険キャンプ・わんぱく食育教室・わんぱく YouTuber 体験・わんぱくウォークラリー・わんぱくクリスマス会 【単発開催】わんぱくスキー教室	市内小学5・6年生対象(申込者14名) 中央公民館・白石城・市内畑・蔵王自然の家・松島自然の家ほか
第44回 こどもまつり	野外活動・レクリエーション等を通して青少年の豊かな人間形成と相互の親睦交流を図る。シャボン玉・ペットボトルボウリング・人形劇・丸太切り体験等の遊びコーナーあり。	主催：白石市子どもまつり実行委員会・白石市・白石市教育委員会 ※新型コロナウイルスの影響により中止
ジュニア・リーダー 研修及び派遣事業	J・Lを対象に、子ども会の指導者としての知識や技術の習得を目指す。各地区の子ども会や児童館等の要望に応じゲームやレクダンス等を通しての青少年の健全育成を図る。	会場：中央公民館・南蔵王野営場・各地区子ども会等
第29回白石市生涯 学習フェスティバル 事業	市民総参加による事業を通年にわたり積極的に展開し、市民が生涯学習に接する機会を広く設け、「ひとづくり」「まちづくり」の推進を目的として行う。 ・ベガルタ仙台サッカー&ルール教室・白石城及び武家屋敷周辺に“白石を詠む”・新春囲碁・将棋大会・うーめん体操活用促進事業・公民館まつり他	主催：白石市生涯学習フェスティバル実行委員会 会場：中央公民館・ホワイトキューブ・白石市内小中学校・白石城・武家屋敷他
「家庭の日」 推進事業	地域全体で家庭のもつ役割の重要性を再認識し、青少年の健全育成と非行防止の啓発を図る。毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め推進。市内小中学生対象に絵画・ポスターを募集し作品展開催。入選作品で啓発ポスターを作成。	主催：生涯学習課・青少年のための白石市民会議



【親の学びのプログラム出前講座】



【わんぱく教室 大冒険キャンプ】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
1 学校支援ボランティア派遣 (1) 登下校安全指導 (2) 部活動等の指導 (3) 自然体験活動 (4) 防災活動 (5) 環境整備 (6) 図書・読み聞かせ (7) 学習支援 (8) 地域理解 (9) キャリア教育 (10) 行事 (11) その他	学校からの支援要請に応じて、ボランティアを派遣する。 通年から月1程度、登下校時に小学校で実施 中学校で卓球、サッカー、剣道等の指導 茶道クラブ・科学クラブの指導 登山8小中学校・スキー8小中学校 地域の消防団と協働し、放水・消火器体験 除草作業・校内清掃・EM菌の活用 読み聞かせは、週1から月1程度で 図書の整理から図書の案内・掲示等 家庭科支援（調理実習等）・水泳の指導 英語活動支援・稲作体験活動 着付け教室・福祉体験活動 伝統文化体験（能楽堂での日本舞踊・茶道） 和太鼓活動 地域探訪（逆さケヤキ） 白石和紙作り・講話・こけし絵付け体験 職場体験前に職業人による講話講師の派遣 運動会・クリスマス会・豆まき等 賞状の浄書等・ベルマーク整理	白一小、白二小、越河小 白中、東中、福岡中 白一小 大鷹沢小、等 PTA活動等も含む 福岡小、白一、白二 大鷹沢小、白川小、小 原小中 白一小、大平小、深谷小 東中 全小学校 福岡中、大鷹沢小 小原小 大平小 大鷹沢小、小原小中 紹介なし 第二幼稚園 白川小等、白二小 東中
2 職場体験関係	中学校職場体験学習に当たり、市内事業所の受け入れ先リストの作成、新規の開拓、コロナ禍により受け入れの確認	全中学校（2学年） ※新型コロナウイルスの影響により中止
3 研修活動	登山ボランティア研修会（南蔵王縦走6月26日実施） 担当会（反省会）9月27日、白一小 講話・情報交換会 12月6日 講師 伊勢みゆき氏	ボランティア等19名参加 ボランティア2名・各担当 ボランティア・自治会長等 46名参加
4 広報活動	広報誌「清流」の発行 地域活動の紹介	幼小中に配布 自治会を通して回覧
5 学び支援活動	放課後学習（週1～2回予定） 中3学力アップ講座（毎週土曜日）	2小1中学で実施 10名参加



【登山支援（白二小）】



【担当者会（登山ボランティアと）】



【講話・情報交換会】

(4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	放課後や週末等に小学校の余裕教室や公的な施設等を活用して、子供たちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設けた。子供達が地域社会の中で心豊かで健やかに育むことを目標に、地域住民の参画を得て様々な体験活動や交流活動等を実施した。 自由遊び・伝統行事体験・軽運動・絵本紙芝居等の読み聞かせ・運動遊び（ムーブメント活動）・造形活動・囲碁将棋 他	会場：各小学校の体育館や多目的室，地区公民館 実施学校 白一小（児童クラブ一体型） 白二小（児童クラブ連携型） 越河小
放課後子ども教室スタッフ合同研修会	スタッフの人材育成のため研修会を行うとともに、悩みや課題の共有をするため情報交換会を年2回程度実施している。 昨年度に引き続き、研修会において、コロナ対策方法等の共有を行った。	会場：中央公民館



【白石第二小学校 放課後子ども教室】



【越河小学校 放課後子ども教室】

4 成果と課題

(1) 成果

令和2年7月に地域学校協働本部を設立し、本部組織の拡充と支援者間のネットワークの拡大を図るためにPTAやまちづくり協議会に連携担当者を位置付けた。また、小原小中学校には学校運営協議会を立ち上げ、より地域との連携が深められ、活動が活発化している。

また、地域学校協働活動について理解を深めることと、ネットワークの充実を図るために、自治会長、地域支援者、連携担当者が会し「講話・情報交換会」を開催し、地域課題や推進の方針等について共通理解を図ることができた。

(2) 課題

本部を立ち上げるなど組織の拡充を図ると共に、地域学校協働活動について理解を深めてもらうための研修活動・広報活動、さらにマッチングを図る機会の設定などを推進してきたが、十分に認知されるまでには至っていない。また、コロナ禍によりボランティアや職場体験活動の受け入れが中止となり、受け入れ側（事業所）の意識の低下も見られ、再構築が求められる。

そのほか、ボランティアの高齢化が進んでいるため、若い世代が参加できるような取組が求められている。



白石市立白石第一小学校



〒989-0269 白石市字平沢園敷前2番地2
TEL 0224-26-3259
FAX 0224-24-2686

児童数 355人
P会員数 273人

ボランティア紹介の会



交通安全教室



宿泊学習・登山

昨年、ボランティアの皆さんと児童の顔合わせの会を行いました。

1年生は、地域の皆さんに説明も兼ねながら交通安全を学習しました。

ボランティアの皆さんに案内していただき、5年生が自然王国遊歩道を歩きました。



白石市立白石第二小学校

すずんで学び よく考えろ子
やさしく おもいやりのある子
たくましく 心を休めたいえる子



児童数 558名
P会員数 429名

〒989-0226 宮城県白石市字白石沖29
TEL:0224-24-2676 FAX:0224-25-3578

p4cの日



p4cの日を設け、全学年が家の片づけを体験しました。子どもたちは、お母さんやお父さんと一緒に、お部屋の片づけを行いました。お母さんやお父さんの片づけの仕方や、お部屋の片づけの大切さについて学びました。

角田支組との交流



前学期に角田支組との交流の一環として、角田支組の児童と本校の児童が交流を行いました。お互いに、お名前や学年、好きな食べ物などについて話し合いました。お互いの文化の違いについて学びました。

伝統文化体験



清水園では伝統文化体験を行っています。日本舞踊と空手の体験を通して、日本の伝統文化について学びました。また、お茶会も行いました。お茶の淹め方や、お茶の淹め方の大切さについて学びました。

野外活動



滝王自然の家での野外活動を通して、成長したことの達成感や協力することの大切さ、友達との絆を改めて感じることができました。



白石市立越河小学校



〒989-0113
宮城県白石市越河字丑山下44
TEL 0224-28-2008 FAX 0224-28-2048

児童数 37名
P会員数 26名

多様な考えを認め合い、強い志を持ち、新しい価値観で行動できる児童の育成

<伝統の継承ハーマニカ演奏>

このほろり演奏会では、地域の皆さんが楽しみにしている演奏を披露します。



<スキー教室>

地域のボランティアの皆さんにご指導いただき、楽しくスキーの実技を学んでいます。



<保育園との交流>

緑岡保童園との交流を行い、ゲームや絵本の読み聞かせなどで楽しく交流しています。



地域学校協働活動



【秋田産農産物活用活動】
山形市のいちご園で、地元の農産物の活用について学びました。



【米づくりの活動】
4、5年生が地域の力を借り、お米づくりを行いました。



【動物園体験】
動物園へ行き、動物の飼育員の方と交流しました。

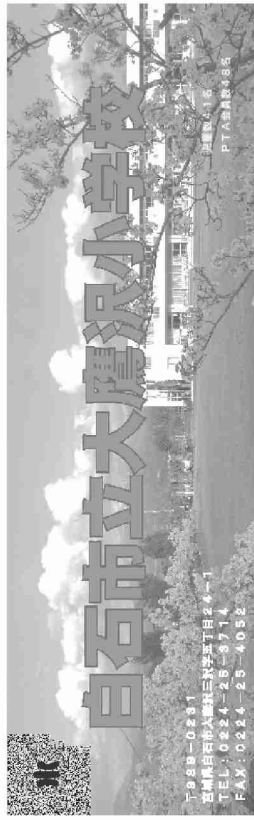


【遊学やボランティア活動】
地域の皆さんと一緒に、自然観察やボランティア活動を行いました。



白石市立大平小学校

〒989-0217 白石市大平森谷字権場山1番地
TEL 0224-25-3709 FAX 0224-25-3745
児童数 190名
P会員数 72名



白石市立大鷹沢小学校

竹馬大会 キャップハンディ体験 地域伝承教育



竹馬大会は本校の伝統行事になっています。親の世代から続く大会で、親子で一緒に体験もできます。竹馬大会で使う竹馬は、地域のボランティアの方が作り竹馬製作教室で作ります。



毎年4年生は、社会福祉法人の方の指導の下に、帽子体験や白杖体験を行います。体の不自由な人の状態を体験することで思いやりの心を養っていきます。



地域に根づく伝統芸能「匠七唄」の練習や引継ぎ活動を通して、地域を大切にすることを身につけていきます。昨年、地域にある八幡田で田植え体験と匠七唄の披露を行いました。



白石市立福岡小学校

～自ら学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成～

こけしの絵付け



こけしの産地である赤松郡地区が学区でも赤松郡小では、6年生は地域のこけし職人から指導を受け、毎年こけしの絵付けを体験している。

伝統文化



市内にある能楽堂「碧水園」では、4年生が茶道と日本舞踊の体験を行っている。子どもたちが「和の心」に触れる貴重な機会となっている。

自然体験



豊かな自然に囲まれた田舎小では、多くの地域ボランティアの方々に協力をお願いしている。登山や雪遊び、スキー教室等、地域を存生かした活動を展開



白石市立白川小学校



【花植え活動】



【魔王登山活動】



【110番教室】



【動くジャンボカルダ取り大会】

地域の方に手ほどきを頂きました。地域の方にガイドをお願いしました。警察の方から防犯を学びました。44年の伝統ある行事です。



白石市立深谷小学校

しろいしりっふかやしょうがっこう

ふるさとを誇りに思う、かこく、やさしく、たくましい児童の育成



＜白石市の文化財「深谷神明神楽」に取り組み、伝統を引き継いでいます。＞



＜伝統の「かさまつ太鼓」＞
全校児童が一つになって、伝統の「かさまつ太鼓」に取り組んでいます。



＜米作りを中心とした「農業体験活動」＞
毎年3年生が取り組み、米作りを通して、食、環境、農業等について学びます。



中学校併設型小学校
白石市立小原小学校
(小原学園)

〒989-0233 宮城県白石市小原字伊勢原道上1番地
TEL 0224-29-2026 FAX 0224-29-2057

児童数 14名
P.会員数 8名

地区清掃活動



小原中学校との合同清掃り活動の一環で地域の施設(村木志公園)の清掃活動に取り組みんでいます。

合同行事の開催



小原小中運動会と地区民体育祭、小原小中と地区民文化祭の合同開催を通して、小原地区の一体として、地域行事に積極的に参加しています。

水・森・土を学ぶ



小原地区の水、森、土を学習テーマに、1年に1テーマを課題として小学部5年から中学部7年までの3年間を軸として学習を進めています。

スクーリングラボ外



保護者・地域の方を交えてP4cを行い、小原学園の学園歌の歌詞をみんなで作りました。



白石市立白石中学校

〒989-0248 白石市南町一丁目2-79
TEL 0224-25-3363 FAX 0224-25-3366

校長 樋口 基明
PTA会員数 379名
全校生徒 376名

A (明るく)・T (楽しく)・G (元気よく)で自主・自律

みんがな

地域貢献



地域の方と一緒に行う活動を通じて、地域に貢献しています。

一致団結



全校体育祭合唱コンクール

PSC活動



地域貢献



白石市立福岡中学校

〒989-0232 宮城県白石市福岡長袋字山ノ下25
電話 0224 (25) 3357 FAX 0224 (25) 3508

スクールバス生徒 乗降引渡し訓練



悪天候のためスクールバスが年に何度もないという状況で、地域の方の協力のもと、アマビエごっこを先頭に川原字及び山内(ペンタワン)車で確認し、保護者へ見送、生徒を引渡す訓練を実施しました。

「アマビエごっこ」をつかって贈ろう



新型コロナウイルス感染症の収束を願い、本校卒業生(けんじ)の方の協力のもと、アマビエごっこ(本劇)市内の福祉施設や医療機関、公民館、北郷、神奈川県の姉妹校に贈りました。

灌漑中学校区 地域学習児童遊歩会



地域連携・小中連携の拠点から、地域住民の方や小学生が交流することを通して、防災意識を高めるとともに、相互理解的に地域に貢献しようとする態度を育みました。



白石市立小原中学校 [小原学園]

〒989-0233 宮城県白石市小原字伊勢原道上1番地
TEL 0224-29-2026 FAX 0224-29-2057

ふるさとを誇りに思い 心豊かで たくましく かしこい 児童生徒

スクールラボ外



保護者・地域の方と一緒にP4cを実施し、小原の自然や風景を描写した学園歌の歌詞をみんなで作りました。

心豊かに学ぶ



地域の方を講師に招いて和太鼓の演奏を始めて11年目となり、「町くんに感謝を」を合言葉に、誠心感謝、まっすぐな気持ちで演奏します。

白石市多文化センター



自分の手で運いた、ふるさとと自衛隊「白石駐屯隊」でできた世界にたった一つの卒業証書。地元の人が学び、地元の人材を生かし、未来へどう貢献できるか、を学ぶ機会を通して、地域の方々と関係が深まっています。

地域のひとと関わり



ふるさとの小原地区の一員として、地区民体育祭、地区民文化祭など、地域の方と一緒に活動します。多くの機会を通して、地域の方々と関係が深まっています。

白石市立東中学校



令和3年度
東中学校テーマ

『進取』

～ 新しい時代の教育活動を
創造・実践する学校 ～



〒989-0213 白石市大蔵沢三沢字開野堂6番地3
TEL:0224-25-5575
FAX:0224-25-5623



サンキューロードプログラム
通学路の除草・清掃活動に取り組み、環境美化に努めています。



福祉体験活動
講師を招いて福祉体験活動を行い、社会に貢献する力を育みます。



小学校での出張授業
6年生を対象に、中学校の教員が、出向いて授業を行います。



ゆかた着付け教室
ゆかたの着付けや所作を体験し、日本の伝統文化を学びます。

学校から近づくまで

学校から近づくまで

学校から近づくまで

学校から近づくまで